

Vostro 3501

セットアップと仕様ガイド




メモ、注意、警告


 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: PC のセットアップ	6
章 2: Windows 用の USB 回復ドライブの作成	8
章 3: シャーシの概要	9
ディスプレイ ビュー.....	9
左面図.....	10
右面図.....	10
パームレストの図.....	11
底面図.....	12
キーボードのショートカット.....	12
章 4: 技術仕様	14
プロセッサ.....	14
チップセット.....	14
オペレーティング システム.....	14
メモリ.....	15
ストレージ.....	15
ポートとコネクタ.....	15
オーディオ.....	16
ビデオ.....	17
カメラ.....	17
通信.....	17
キーボード.....	18
タッチパッド.....	19
メディアカードリーダー.....	19
電源アダプター.....	19
バッテリー.....	20
寸法と重量.....	21
ディスプレイ.....	21
指紋認証リーダー.....	22
セキュリティ.....	22
セキュリティ ソフトウェア.....	22
コンピュータ環境.....	23
章 5: ソフトウェア	24
Windows ドライバのダウンロード.....	24
章 6: セットアップユーティリティ	25
ブートメニュー.....	25
ナビゲーションキー.....	25
ブート シーケンス.....	26
BIOS セットアップ.....	26
概要.....	26

起動オプション.....	27
システム設定.....	28
ビデオ.....	29
セキュリティ.....	29
パスワード.....	30
セキュアブート.....	32
エキスパートキー管理.....	32
パフォーマンス.....	33
電源管理.....	33
ワイヤレス.....	34
POST 動作.....	35
メンテナンス.....	35
システムログ.....	36
Windows での BIOS のアップデート.....	36
BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート.....	37
Linux および Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート.....	37
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	37
システム セットアップパスワードの割り当て.....	38
既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更.....	38
章 7: ヘルプ.....	39
Dell へのお問い合わせ.....	39

PC のセットアップ

手順

1. 電源アダプターを接続して、電源ボタンを押します。

メモ: バッテリー電源を節約するために、バッテリーが省電力モードになることがあります。



2. Windows システムのセットアップを完了します。

画面の指示に従ってセットアップを完了します。セットアップの際には、以下のことをお勧めします。





- ネットワークに接続して、Windows アップデートが行えるようにします。
メモ: セキュアなワイヤレス ネットワークに接続する場合、プロンプトが表示されたらワイヤレス ネットワークアクセス用のパスワードを入力してください。
- インターネットに接続されたら、Microsoft アカウントでサインインするか、またはアカウントを作成します。インターネットに接続されていない場合は、オフラインのアカウントを作成します。
- Support and Protection **サポートおよび保護**の画面で、連絡先の詳細を入力します。

3. Windows スタートメニューから Dell アプリを見つけて使用します。 — 推奨


表 1. デルのアプリを見つける

Dell アプリ	詳細
	Dell 製品の登録 デルに、お使いの PC を登録します。
	デルのヘルプとサポート PC のヘルプとサポートにアクセスします。

表 1. デルのアプリを見つける (続き)

Dell アプリ	詳細
	<p>SupportAssist</p> <p>PC のハードウェアとソフトウェアの状態をプロアクティブにチェックします。</p> <p> メモ: SupportAssist 内で保証有効期限をクリックすることで、保証の更新またはアップグレードを行えます。</p>
	<p>Dell Update</p> <p>重要な修正プログラムおよびデバイス ドライバが提供された場合に、お使いの PC を更新します。</p>
	<p>Dell Digital Delivery</p> <p>さまざまなソフトウェア アプリケーション (購入済みだがブ リインストールされていないソフトウェアなど) を、お使 いの PC にダウンロードします。</p>

4. Windows 用の回復ドライブを作成します。

 **メモ:** Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、回復ドライブを作成することが推奨されています。

詳細に関しては、「[Windows 用の USB 回復ドライブの作成](#)」を参照してください。

Windows 用の USB 回復ドライブの作成

Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、リカバリドライブを作成します。回復ドライブを作成するには、容量が少なくとも 16 GB で空の USB フラッシュドライブが必要です。

前提条件

- メモ:** このプロセスの完了までに、最大 1 時間かかる場合があります。
- メモ:** 次の手順は、インストールされている Windows のバージョンによって異なることがあります。最新の説明については、[Microsoft のサポートサイト](#)を参照してください。

手順

- お使いのコンピュータに USB フラッシュドライブを接続します。
- Windows サーチに **回復** と入力します。
- 検索結果で、[**回復ドライブの作成**] をクリックします。
[**ユーザーアカウント制御**] ウィンドウが表示されます。
- [**はい**] をクリックして続行します。
[**回復ドライブ**] ウィンドウが表示されます。
- [**システムファイルを回復ドライブにバックアップします**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。
- [**USB フラッシュドライブ**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。
USB フラッシュドライブ内のデータがすべて削除されることを示すメッセージが表示されます。
- [**作成**] をクリックします。
- [**完了**] をクリックします。
USB 回復ドライブを使用して Windows を再インストールする方法の詳細については、www.dell.com/support/manuals にあるお使いの製品の『**サービス マニュアル**』で、「**トラブルシューティング**」の項を参照してください。

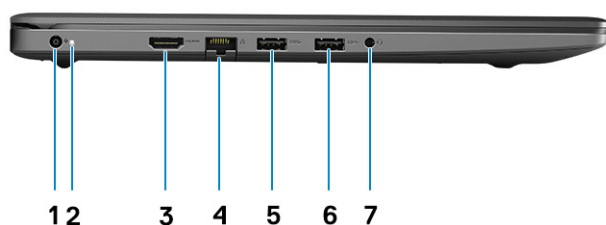
シャーシの概要

ディスプレイビュー



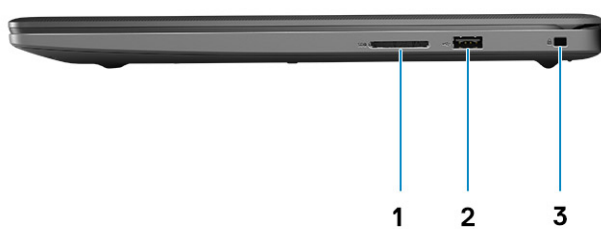
1. カメラ
2. カメラステータスライト
3. マイクロフォン
4. LCD パネル

左面図



1. DC 入力ポート
2. LED インジケーター
3. HDMI 1.4 ポート
メモ: HDMI ポートでサポートされている最大解像度は、60Hz で 1920x1080 です (24 ビット)
4. ネットワークポート
5. USB 3.2 Gen 1 ポート
6. USB 3.2 Gen 1 ポート
7. ユニバーサル オーディオ ジャック (Realtek オーディオ) / オーディオ ジャック (Cirrus オーディオ ロジック)

右面図



1. SD 3.0 カード リーダー スロット
2. USB 2.0 Type-A ポート
3. くさび形セキュリティ スロット

パームレストの図



1. オプションの指紋認証リーダー内蔵電源ボタン
2. キーボード
3. タッチパッド

底面図



1. スピーカー
2. サービス タグ
3. 通気孔

キーボードのショートカット

①メモ: キーボードの文字は、キーボードの言語設定によって異なる場合があります。ショートカットに使用するキーは、すべての言語設定で同じです。

表2. キーボードのショートカットのリスト

キー	プライマリ動作
Fn+F1	消音
Fn+F2	ボリュームを下げる
Fn+F3	ボリュームを上げる
Fn+F4	再生 / 一時停止
Fn+F5	キーボード バックライトをオン/オフにする

表 2. キーボードのショートカットのリスト (続き)

キー	プライマリ動作
Fn+F6	明るさを下げる
Fn+F7	明るさを上げる
Fn+F8	外部ディスプレイに切り替え
Fn+F10	プリントスクリーン
Fn+F11	ホーム
Fn+F12	終了
Fn+Ctrl	アプリケーションメニューを開く

技術仕様

メモ: 提供されるものは地域により異なる場合があります。以下の仕様は、お客様のコンピューターの出荷に際して法律で定められた項目のみ記載しています。お使いのコンピューターの構成の詳細については、Windows オペレーティング システムのヘルプとサポートにアクセスして、コンピューターに関する情報を表示するオプションを選択してください。

プロセッサ

表 3. プロセッサ

説明	値
プロセッサ	第 10 世代インテル Core i3 (1005G1)
ワット数	15 W
コア数	2
スレッド数	4
スピード	最大 3.4 GHz
キャッシュ	4 MB
内蔵グラフィックス	インテル UHD グラフィックス

チップセット

表 4. チップセット

説明	値
プロセッサ	Ice lake U (ICL U) PCH-LP
チップセット	インテル Core i3
DRAM バス幅	64 ビット
PCIe バス	Gen 3

オペレーティング システム

Vostro 3501 では、次のオペレーティング システムをサポートしています。

- Windows 10 Professional (64 ビット)
- Windows 10s Home (64 ビット)
- Ubuntu 20.04

メモリ

表 5. メモリの仕様

説明	値
スロット	SODIMM スロット (2)
タイプ	DDR4
速度	2666 MHz
最大メモリ	16 GB
最小メモリ	4 GB
サポートされている構成	<ul style="list-style-type: none">● 4 GB DDR4、2666 MHz (1x4 GB)● 8 GB DDR4、2666 MHz (2 x 4 GB)● 8 GB DDR4、2666 MHz (1 x 8 GB)● 12 GB DDR4、2666 MHz (1 x 8 GB + 1 x 4 GB)● 16 GB DDR4、2666 MHz (1 x 16 GB)● 16 GB DDR4、2666 MHz (2 x 8 GB)

ストレージ

お使いの PC では、以下のいずれかの構成がサポートされています。

- 2.5 インチ 5400 RPM、SATA ハードドライブ
- ソリッドステート ドライブ用 M.2 2230/2280

PC のプライマリ ドライブは、ストレージ構成により異なります。PC に

- 2.5 インチ 5400 RPM、SATA ハードドライブ
- ソリッドステート ドライブ用 M.2 2230/2280

表 6. ストレージの仕様

フォームファクター	インターフェースのタイプ	容量
2.5 インチ 5400 rpm、ハードドライブ	SATA	最大 2 TB
M.2 2230 ソリッドステート ドライブ	PCIe NVMe 3x4	最大 512 GB
M.2 2280 ソリッドステート ドライブ	PCIe NVMe 3x4	最大 1 TB

ポートとコネクタ

表 7. 外部ポートとコネクタ

説明	値
外部 :	
ネットワーク	1x フリップダウン RJ 45 ポート (10/100/1000 Mbps)
USB	<ul style="list-style-type: none">● 2 x USB 3.2 Gen 1 Type-A ポート● 1 x USB 2.0 Type-A ポート
オーディオ	<ul style="list-style-type: none">● 1 x ユニバーサル オーディオ ポート (Realtek オーディオ構成の PC)

表 7. 外部ポートとコネクタ (続き)

説明	値
	<ul style="list-style-type: none"> オーディオ ジャック x 1(Cirrus Logic オーディオ構成の PC)
ビデオ	1x HDMI 1.4 ポート ⓘ メモ: HDMI ポートでサポートされている最大解像度は、60Hz で 1920x1080 です (24 ビット)
電源アダプターポート	4.5 mm バレルタイプ
セキュリティ	くさび形ロック スロット x 1
カード スロット	SD 3.0 カード スロット x 1

表 8. 内部ポートとコネクタ

説明	値
内部 :	
1x ソリッドステート ドライブ用 M.2 Key-M (2280 または 2230) 1x WLAN 用 M.2 2230 Key-E	<ul style="list-style-type: none"> M.2 2230 スロット (Wi-Fi 用) x 1 2230/2280 ソリッドステート ドライブ用 M.2 スロット x 1 ⓘ メモ: さまざまなタイプの M.2 カードの機能の詳細については、ナレッジ ベース記事 SLN301626 を参照してください。
SIM カード	非対応

オーディオ

表 9. オーディオの仕様

説明	値	
コントローラー	Realtek ALC3204	Cirrus CS8409 (CS42L42 + TI SN005825)
ステレオ変換	対応	対応
内部インターフェイス	ハイ デフィニション オーディオ	HDA ブリッジ + CS42L42 オーディオ コーデック
外部インターフェイス	ユニバーサルオーディオジャック	ヘッドセット ジャック ⓘ メモ: 3.5mm ヘッドセット ジャックの機能は、モデル構成によって異なります。最良の結果を得るには、Dell 推奨のオーディオ周辺機器を使用してください。
スピーカー	2 台	2 台
内蔵スピーカー アンプ	対応	対応
外部ボリューム コントロール	キーボード ショートカット コントロール	キーボード ショートカット コントロール

表 9. オーディオの仕様 (続き)

説明	値	
スピーカー出力の平均値	2 W	2 W
スピーカー出力のピーク	2.5 W	2.5 W
サブウーハー出力	非対応	非対応
マイクロフォン	シングル デジタル マイクロフォン	シングル デジタル マイクロフォン

ビデオ

表 10. 内蔵グラフィックの仕様

内蔵グラフィックス			
コントローラー	外部ディスプレイ対応	メモリー サイズ	プロセッサ
インテル UHD グラフィックス	<ul style="list-style-type: none"> HDMI 1.4 (1) <p>メモ: HDMI ポートでサポートされている最大解像度は、60Hz で 1920x1080 です (24 ビット)</p>	共有システム メモリー	<ul style="list-style-type: none"> インテル第 10 世代 Core i3 プロセッサ

カメラ

表 11. カメラの仕様

標準 Web カメラ		値
説明		値
カメラの数		1 回
タイプ		HD RGB カメラ
場所		前面カメラ
センサーのタイプ		CMOS センサーテクノロジー
解像度 :		
	静止画像	0.92 メガピクセル
	ビデオ	1280 x 720 (HD)(30 fps)
対角視野角		78.6 度

通信

Ethernet

表 12. Ethernet の仕様

説明	値
Model number (モデル番号)	内蔵 Realtek RTL8111H

表 12. Ethernet の仕様 (続き)

説明	値
転送レート	例 : 10/100/1000 Mbps

ワイヤレス モジュール

表 13. ワイヤレス モジュールの仕様

説明	値		
Model number (モデル番号)	インテル 9462	Qualcomm QCA9377 (DW1810)	Realtek RTL8723DE
転送レート	最大 433 Mbps	最大 433 Mbps	最大 150 Mbps
サポートされている周波数帯域	2.4 GHz/5 GHz	2.4 GHz/5 GHz	2.4 GHz
ワイヤレス規格	<ul style="list-style-type: none"> WiFi 802.11a/b/g Wi-Fi 4 (Wi-Fi 802.11n) Wi-Fi 5 (Wi-Fi 802.11ac) Wi-Fi 6 (WiFi 802.11ax) 	<ul style="list-style-type: none"> WiFi 802.11a/b/g Wi-Fi 4 (Wi-Fi 802.11n) Wi-Fi 5 (Wi-Fi 802.11ac) 	<ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi 802.11 a/b/g Wi-Fi 4 (WiFi 802.11n)
暗号化	<ul style="list-style-type: none"> 64 ビット/128 ビット WEP AES-CCMP TKIP 	<ul style="list-style-type: none"> 64 ビット/128 ビット WEP AES-CCMP TKIP 	<ul style="list-style-type: none"> 64 ビット/128 ビット WEP AES-CCMP TKIP
Bluetooth	Bluetooth 5.0	Bluetooth 5.0	Bluetooth 4.2

キーボード

次の表では、Vostro 3501 のキーボードの仕様をリスト表示しています。

表 14. キーボードの仕様

説明	値
キーボード タイプ	<ul style="list-style-type: none"> 標準キーボード 白色のバックライト キーボード
キーボードのレイアウト	QWERTY
キーの数	<ul style="list-style-type: none"> 米国とカナダ : 101 キー 英国 : 102 キー 日本 : 105 キー
キーボードのサイズ	X=18.7 mm キー ピッチ Y = 18.05 mm キー ピッチ
キーボードのショートカット	キーボードのキーの中には記号が 2 つ書かれているものがあります。そのキーを使用して代替文字を打つ、または二次機能を実行することができます。代替文字を打つには、Shift キーと希望するキーを押します。二次機能を実行するには、Fn と希望するキーを押します。

表 14. キーボードの仕様 (続き)

説明	値
	<p>メモ: BIOS セットアッププログラムで [ファンクション キーの動作] を変更することで、ファンクション キー (F1 ~ F12) のプライマリ動作を定義できます。</p>

タッチパッド

次の表では、Vostro 3501 のタッチパッドの仕様をリスト表示しています。

表 15. タッチパッドの仕様

説明	値
タッチパッドの解像度 :	
水平方向	<ul style="list-style-type: none"> • Synaptics : 1230 • Lite-on : 1920
垂直方向	<ul style="list-style-type: none"> • Synaptics : 930 • Lite-on : 1080
タッチパッドの寸法 :	
水平方向	105 mm (4.13 インチ)
垂直方向	65 mm (2.55 インチ)
タッチパッドジェスチャー	Windows 10 で利用できるタッチパッド ジェスチャーの詳細については、 support.microsoft.com にある Microsoft サポート技術情報の記事 4027871 を参照してください。

メディアカードリーダー

表 16. メディアカードリーダーの仕様

説明	値
タイプ	Micro SD 3.0 カード x 1
サポートされるカード	<ul style="list-style-type: none"> • Micro Secure Digital (mSD) • マイクロ セキュア デジタル高容量 (mSDHC) • マイクロ セキュア デジタル拡張容量 (mSDXC)

電源アダプター

表 17. 電源アダプターの仕様

説明	値	値
タイプ	45 W	65 W
コネクタの寸法	4.5 mm x 2.9 mm	4.5 mm x 2.9 mm
入力電圧	AC100 V x AC240 V	AC100 V x AC240 V

表 17. 電源アダプターの仕様 (続き)

説明	値	値
入力周波数	50 Hz x 60 Hz	50 Hz x 60 Hz
入力電流 (最大)	1.30 A	1.60 A/1.70 A
出力電流 (連続)	2.31 A	3.34 A
定格出力電圧	DC19.50 V	DC19.50 V
温度範囲 :		
動作時	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
ストレージ	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)

バッテリー

表 18. バッテリーの仕様

説明	値
タイプ	42 WHr ポリマー バッテリー
電圧	DC 11.40 V
重量 (最大)	0.2 kg (0.44 ポンド)
寸法 :	
高さ	184.15 mm (7.25 インチ)
幅	97.15 mm (3.82 インチ)
奥行き	5.90 mm (0.23 インチ)
温度範囲 :	
動作時	0°C ~ 35°C (32°F ~ 95°F)
ストレージ	-40°C ~ 65°C (-40°F ~ 149°F)
動作時間	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。
充電時間 (概算)	4 時間 (PC の電源がオフの場合) ① メモ: デルでは、最適な電力消費量を実現するために、定期的にバッテリーを充電することをお勧めします。バッテリーの充電が完全になくなった場合は、電源アダプターを接続してコンピューターをオンにしてからリスタートし、電力消費量を削減します。Dell Power Manager のアプリケーションを使用して、充電時間、期間、開始および終了時刻などを制御します。Dell Power Manager の詳細については、 www.dell.com/ の『私と My Dell』を参照してください
コイン型電池	CR2032
動作時間	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。

寸法と重量

表 19. 寸法と重量

説明	値
高さ :	
前面	18 mm (0.70 インチ)
背面	19.90 mm (0.78 インチ)
幅	363.96 mm (14.32 インチ)
奥行き	249 mm (9.80 インチ)
重量	<ul style="list-style-type: none">• タッチ対応 : 1.91 kg (4.21 ポンド)• タッチスクリーンなし : 1.90 kg (4.18 ポンド) <p>i メモ: ノートパソコンの重量は、発注時の構成や製造上の条件により異なる場合があります。</p>

ディスプレイ

表 20. ディスプレイの仕様

説明	値	
タイプ	HD (ハイ デフィニション)	FHD (フルハイ デフィニション)
パネルテクノロジー	TN (ツイステッド ネマチック)	WVA (ワイド ビュー アングル)
輝度 (標準)	220 nit	220 nit
寸法 (アクティブ エリア):		
高さ	193.54 mm (7.62 インチ)	193.54 mm (7.62 インチ)
幅	344.23 mm (13.55 インチ)	344.23 mm (13.55 インチ)
対角線	394.90 mm (15.54 インチ)	394.90 mm (15.54 インチ)
ネイティブ解像度	1366 x 768	1920 x 1080
メガピクセル	1.05	2.07
色域	NTSC 45%標準	NTSC 45%標準
1インチあたりの画素数 (PPI)	100	141
コントラスト比 (最小)	400:1	400:1
レスポンスタイム (最大)	25 ミリ秒	35 ミリ秒
リフレッシュレート	60 Hz	60 Hz
水平可視角度	40 度	80 度
垂直可視角度	上/下 10/30 度	80 度

表 20. ディスプレイの仕様 (続き)

説明	値	
ピクセルピッチ	0.252 mm	0.179 mm
電力消費 (最大)	4.2 W	4.2 W
非光沢 vs 光沢仕上げ	非光沢	非光沢
タッチ オプション	無	無

指紋認証リーダー

表 21. 指紋認証リーダーの仕様

説明	値
センサー テクノロジー	容量式
センサーの解像度	500 dpi
センサーのピクセルサイズ	80 x 64

セキュリティ

表 22. セキュリティの仕様

機能	仕様
TPM (Trusted Platform Module) 2.0	システム ボード内蔵
指紋認証リーダー	オプション
くさび形ロックスロット	Standard (標準)

セキュリティ ソフトウェア

表 23. セキュリティ ソフトウェアの仕様

仕様
Dell Client Command Suite
オプションの Dell Data Security および管理ソフトウェア
Dell Client Command Suite
Dell BIOS 検証
オプションの Dell Endpoint Security および管理ソフトウェア
VMware Carbon Black エンドポイント スタンダード
Vmware Carbon Black エンドポイント スタンダード + Secureworks スレット ディテクション & レスポンス
Dell Encryption Enterprise
Dell Encryption Personal
Carbonite
VMware Workspace ONE
Absolute® Endpoint Visibility and Control

表 23. セキュリティ ソフトウェアの仕様 (続き)

仕様
Netskope
Dell Supply Chain Defense

コンピュータ環境

空気汚染物質レベル : G1 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

表 24. コンピュータ環境

説明	動作時	ストレージ
温度範囲	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	-40°C ~ 65°C (-40°F ~ 149°F)
相対湿度 (最大)	10% ~ 90% (結露なし)	0% ~ 95% (結露なし)
振動 (最大) *	0.66 GRMS	1.30 GRMS
衝撃 (最大)	140 G†	160 G†
高度 (最大)	0 m ~ 3,048 m (0 ~ 10,000 フィート)	0 m ~ 10668 m(-0 フィート ~ 35,000 フィート)

* ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用して測定。


† ハードドライブの使用中に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

ソフトウェア

本章では、対応オペレーティングシステムおよびドライバのインストール方法について詳しく説明します。

Windows ドライバのダウンロード

手順

1. の電源を入れます。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
3. [製品サポート] をクリックし、のサービス タグを入力して、[送信] をクリックします。
 **メモ:** サービス タグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いののモデルを手動で参照してください。
4. [Drivers and Downloads (ドライバーおよびダウンロード)] をクリックします。
5. お使いのにインストールされているオペレーティング システムを選択します。
6. ページをスクロール ダウンし、ドライバーを選択してインストールします。
7. [ファイルのダウンロード] をクリックして、お使いの用のドライバーをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバーファイルを保存したフォルダに移動します。
9. ドライバーファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

セットアップユーティリティ

注意: コンピューターに詳しい方以外は、BIOS セットアップ プログラムの設定を変更しないでください。特定の変更でコンピューターが誤作動を起こす可能性があります。

メモ: BIOS セットアップ プログラムを変更する前に、後で参照できるように、BIOS セットアップ プログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアップ プログラムは次の目的で使用します。

- RAM の容量やハード ドライブのサイズなど、コンピューターに取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- システム設定情報の変更。
- ユーザー パスワード、取り付けられたハード ドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

ブートメニュー

デルのロゴが表示されたら<F12>を押して、ワンタイム ブート メニューを開始し、システムで有効になっている起動デバイスのリストを表示します。診断および BIOS セットアップのオプションもこのメニューにあります。起動メニューに表示されるデバイスは、システムでブータブルなデバイスによって異なります。このメニューは、特定のデバイスで起動を試行する場合や、システムの診断を表示する場合に便利です。起動メニューを使用しても、BIOS に保存されている起動順序は変更されません。

このオプションは次のとおりです。

- [UEFI 起動デバイス]:
 - ウィンドウズブートマネージャー
 - UEFI ハード ドライブ
 - オンボード NIC (IPV4)
 - オンボード NIC (IPV6)
- [起動前タスク]:
 - BIOS セットアップ
 - 診断
 - BIOS のアップデート
 - SupportAssist OS リカバリー
 - BIOS フラッシュのアップデート：リモート
 - デバイス構成

ナビゲーションキー

メモ: ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか（該当する場合）、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

ブート シーケンス

ブートシーケンスを利用すると、セットアップユーティリティで定義されたデバイス起動順序をバイパスし、特定のデバイス(例: 光学ドライブまたはハードドライブ)から直接起動することができます。電源投入時の自己テスト (POST) 中にデルのロゴが表示されたら、以下が可能になります。

- F2 キーを押してセットアップユーティリティにアクセスする
- F12 キーを押してワнтаイム ブート メニューを立ち上げる

ワнтаイム ブート メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ
① **メモ:** XXXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- 光学ドライブ (利用可能な場合)
- SATA ハード ドライブ (利用可能な場合)
- 診断
① **メモ:** [診断] を選択すると [SupportAssist 診断] 画面が表示されます。

ブートシーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

BIOS セットアップ

① **メモ:** お使いのおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示された項目の一部がない場合があります。

概要

表 25. 概要

オプション	説明
[システム情報]	<p>このセクションには、PC の主要なハードウェア機能が一覧表示されます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• [システム情報]<ul style="list-style-type: none">○ BIOS バージョン○ サービス タグ○ Asset Tag○ 製造日○ 購入日○ エクスプレス サービス コード○ 所有者タグ○ 署名されたファームウェア アップデート• [バッテリー]<ul style="list-style-type: none">○ プライマリ (システム) パスワード○ バッテリー レベル○ バッテリー状態○ 正常性○ AC アダプター• [プロセッサ情報]<ul style="list-style-type: none">○ プロセッサの種類○ 最大クロック スピード○ 最小クロック スピード○ 現在のクロック スピード

表 25. 概要

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ○ コア数 ○ プロセッサ ID ○ Processor L2 のキャッシュ ○ Processor L3 のキャッシュ ○ マイクロコードのバージョン ○ インテル ハイパースレッディング対応 ○ 64 ビット テクノロジー ● [メモリー構成] <ul style="list-style-type: none"> ○ インストールされたメモリー ○ 使用可能なメモリー ○ メモリー スピード ○ メモリー チャネル モード ○ メモリー テクノロジー ○ DIMM_Slot 1 ○ DIMM_Slot 2 ● [デバイス情報] <ul style="list-style-type: none"> ○ パネルのタイプ ○ ビデオ コントローラー ○ ビデオ メモリー ○ Wi-Fi デバイス ○ ネイティブ解像度 ○ ビデオ BIOS バージョン ○ オーディオ コントローラー ○ Bluetooth デバイス ○ LOM MAC アドレス ○ dGPU ビデオ コントローラー

起動オプション

表 26. 起動オプション

オプション	説明
[Enable Boot Devices]	<p>UEFI ハード ドライブ: システムによって検出された起動デバイスの有効化を選択できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ウィンドウズブートマネージャー 2. UEFI ハード ドライブ <p>① メモ: レガシー起動モードは、このプラットフォームではサポートされていません。</p>
[Add / Remove / View Boot Devices]	<p>前掲の起動デバイスを追加または削除できます。使用可能な制御は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ブート オプションを追加 ● ブート オプションを削除 ● 表示
[UEFI 起動パス セキュリティ]	<p>システムで管理者パスワードを要求するかどうかを制御できます。使用可能な制御は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Never ● Always ● Always Except Internal HDD

システム設定

表 27. システム設定

オプション	説明
[日付/時刻]	このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [日付] • [時刻] <p>メモ: レガシー起動モードは、このプラットフォームではサポートされていません。</p>
[ネットワーク コントローラーの設定]	[内蔵 NIC]: <ol style="list-style-type: none"> 1. 無効 2. 有効 3. PXE で有効 [UEFI ネットワーク スタックを有効にする]: <ol style="list-style-type: none"> 1. オン 2. 消灯
[ストレージ インターフェイス]	[ポートの有効化]: オンボード ドライブを有効または無効にできます。次のドライブのオンまたはオフを切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [SATA-0] • [M.2 PCIe SSD-0/SATA-2]
[SATA の動作]	使用可能なストレージ デバイスの SATA 作動モードを設定できます。使用可能なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [無効] • [AHCI] • [RAID On (RAID オン)]
[ドライブ情報]	このセクションには、使用可能なすべてのストレージ デバイスのドライバー構成と仕様が表示されます。
[Enable Audio (オーディオを有効にする)]	内部オーディオ デバイスを有効にできます。使用可能なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Microphone (マイクロフォンを有効にする)] • [Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする)]
[USB 設定]	USB 起動デバイスを有効にできます。使用可能なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする)] • [Enable External USB Ports (外付け USB ポートを有効にする)]
[Miscellaneous Devices]	内部カメラを有効にできます。使用可能なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Camera]
[キーボード ライト]	キーボードの明るさのレベルを設定できます。使用可能なオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [無効] • [Dim (暗い)] • [Bright (明るい)]

ビデオ

表 28. ビデオ

オプション	説明
[LCD の明るさ]	バッテリー電源で作動しているときの、スクリーンの明るさを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 0~100
[AC 電源での明るさ]	AC 電源で作動しているときの、スクリーンの明るさを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 0~100
[EcoPower]	[EcoPower を有効にする]: 適宜、バッテリー持続時間を延ばし、ディスプレイの明るさを下げることができます。 このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ● [オン] ● [消灯]

セキュリティ

表 29. セキュリティ

オプション	説明
[Enable Admin Setup Lockout (管理者セットアップロックアウトを有効にする)]	管理者は、ユーザーによる BIOS メニューへのアクセスを許可またはブロックできます <ul style="list-style-type: none"> ● [オン] ● [消灯] <p>① メモ: 管理者パスワードを削除すると、システムパスワードが削除されます (設定されている場合)。管理者パスワードを使用して、ハードドライブパスワードを削除することもできます。このため、システムパスワードまたはハードドライブパスワードが設定されている場合、管理者パスワードを設定できません。したがって、管理者パスワードをシステムパスワードまたはハードドライブパスワードとともに使用する必要がある場合は、まず管理者パスワードを設定する必要があります。</p>
[パスワードのスキップ]	電源をオフの状態からオンにしたときに、システムパスワードとハードドライブパスワードの入力を求めるプロンプトを表示させるかどうかを制御できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● [無効] ● [Reboot bypass (再起動のスキップ)]
[管理者ではないパスワードによる変更を有効にする]	有効にすると、ユーザーは管理者パスワードなしでシステムパスワードとハードドライブパスワードを変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● [オン] ● [消灯]
[UEFI カプセルファームウェアのアップデートを有効にする]	UEFI カプセル アップデート パッケージ経由の BIOS アップデートを設定できます <ul style="list-style-type: none"> ● [オン] ● [消灯]
[Absolute]	オプションの Absolute Persistence Module サービスの BIOS モジュール インターフェイスを、[有効] [無効] [恒久的に無効] のいずれかに設定できます。制御の詳細は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ● [有効] ● [無効] ● [恒久的に無効]
[TPM 2.0 セキュリティ オン]	TPM セキュリティを有効または無効にできます。制御の詳細は次のとおりです。

表 29. セキュリティ (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • [オン] • [消灯]
[有効なコマンドの PPI をスキップ]	TPM 物理プレゼンス インターフェイス (PPI) を有効または無効にできます。制御の詳細は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [オン] • [消灯]
[PPI Bypass for Disabled Commands(無効なコマンドの PPI をスキップ)]	TPM 物理プレゼンス インターフェイス (PPI) を有効または無効にできます。制御の詳細は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [オン] • [消灯]
[クリアコマンドの PPI のスキップ]	TPM 物理プレゼンス インターフェイス (PPI) を有効または無効にできます。制御の詳細は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [オン] • [消灯]
[Attestation Enable (アテステーションを有効にする)]	オペレーティング システムの TPM 承認階層を有効または無効にできます。制御の詳細は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [オン] • [消灯]
[キー ストレージを有効にする]	オペレーティング システムの TPM 承認階層を有効または無効にできます。制御の詳細は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [オン] • [消灯]
[SHA-256]	BIOS 起動中に、SHA-256 ハッシュ アルゴリズムを有効にして、TPM PCR に測定を拡張できます。制御の詳細は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [オン] • [消灯]
[Clear (クリア)]	TPM 所有者情報をクリアし、TPM をデフォルトの状態に戻すことができます。制御の詳細は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [オン] • [消灯]
[TPM の状態]	TPM を有効または無効にできます。制御の詳細は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [オン] • [消灯]
[SMM セキュリティの緩和]	UEFI SMM Security Mitigation を有効または無効にできます。制御の詳細は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [オン] • [消灯]

パスワード

表 30. パスワード

オプション	説明
[Enable Strong Passwords]	複雑な管理者パスワードとシステム パスワードを有効にできます。 <ul style="list-style-type: none"> • [オン] • [消灯]

表 30. パスワード (続き)

オプション	説明
	<p>① メモ: 管理者パスワードを削除すると、システムパスワードが削除されます(設定されている場合)。管理者パスワードを使用して、ハードドライブパスワードを削除することもできます。このため、システムパスワードまたはハードドライブパスワードが設定されている場合、管理者パスワードを設定できません。したがって、管理者パスワードをシステムパスワードまたはハードドライブパスワードとともに使用する必要がある場合は、まず管理者パスワードを設定する必要があります。</p>
[パスワードの設定]	<p>管理者パスワードとシステムパスワードの最大文字数を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Admin Password Min (管理者パスワードの最小文字数)(04)] ● [Admin Password Max (管理者パスワードの最大文字数)(32)] ● [System Password Min (システムパスワードの最小文字数)(04)] ● [System Password Max (システムパスワードの最大文字数)(32)]
[管理者パスワード]	<p>管理者パスワードを設定できます。</p> <p>① メモ: 管理者パスワードを削除すると、システムパスワードが削除されます(設定されている場合)。管理者パスワードを使用して、ハードドライブパスワードを削除することもできます。このため、システムパスワードまたはハードドライブパスワードが設定されている場合、管理者パスワードを設定できません。したがって、管理者パスワードをシステムパスワードまたはハードドライブパスワードとともに使用する必要がある場合は、まず管理者パスワードを設定する必要があります。</p> <p>大文字 これを有効にすると、このフィールドはパスワードに少なくとも1個の大文字を含める必要があります。</p> <p>小文字 これを有効にすると、このフィールドはパスワードに少なくとも1個の小文字を含める必要があります。</p> <p>桁 これを有効にすると、このフィールドはパスワードに少なくとも1桁の数字を含める必要があります。</p> <p>特殊文字 これを有効にすると、このフィールドはパスワードに少なくとも1個の特殊文字を含める必要があります。</p> <p>① メモ: これらのオプションはデフォルトでは無効になっています。</p> <p>最小文字数 パスワードに使用できる文字数を定義します。最小 = 4</p>
[パスワードのスキップ]	<p>これを設定すると、システムの再起動時にシステムパスワードと内蔵ハードドライブパスワードの入力をバイパスすることができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [Disabled] — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 ● [Reboot bypass (再起動のスキップ)]
[パスワードの変更]	<p>管理者パスワードを入力することなく、システムパスワードとハードドライブパスワードを変更できます。</p> <p>[管理者以外のパスワードの変更を有効化]: デフォルトでは、このオプションは無効に設定されています。</p>
[管理者設定のロック]	<p>管理者は、ユーザーが BIOS セットアップにアクセスする方法を制御できます。</p> <p>[管理者セットアップ ロックアウトの有効化]: デフォルトでは、このオプションは無効に設定されています。</p> <p>① メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 管理者パスワードが設定され、[管理者セットアップ ロックアウトの有効化] が有効になっている場合、管理者パスワードがないと (F2 または F12 を使用して) BIOS セットアップを表示できません。

表 30. パスワード (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> 管理者パスワードが設定され、[管理者セットアップ ロックアウトの有効化] が無効になっている場合、BIOS セットアップに入ることができ、ロック モードで表示されるアイテムを表示できます。
[マスター パスワードのロック]	<p>マスター パスワードのサポートを無効にすることができます。</p> <p>[マスター パスワード ロックアウトの有効化]: デフォルトでは、このオプションは無効に設定されています。</p> <p>メモ: 設定を変更する前に、ハード ディスク パスワードをクリアする必要があります。</p>

セキュア ブート

表 31. セキュア ブート

オプション	説明
[セキュア ブート]	<p>セキュア ブートでは、システムの起動で検証済みの起動ソフトウェアのみを使用します。</p> <p>[セキュア ブートを有効にする]: デフォルトでは、このオプションは無効に設定されています。</p> <p>メモ: [セキュア ブートを有効にする] を有効に設定するには、システムが UEFI 起動モードである必要があります。</p>
[Secure Boot Mode]	<p>セキュア ブート操作モードを変更すると、セキュア ブートの動作が変更され、UEFI ドライバー署名の評価ができるようになります。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> [Deployed Mode] — デフォルトでは、このオプションは有効に設定されています。 [監査モード]

エキスパートキー管理

表 32. エクスパートキー管理

オプション	説明
[カスタムモードを有効にする]	<p>セキュリティ キー データベースを操作できます</p> <ul style="list-style-type: none"> [オン] [Off]: デフォルトでは、このオプションは有効に設定されています。
[エクスパートキー管理]	<p>Custom Mode Key Management のオプションは次のとおりです</p> <ul style="list-style-type: none"> [PK]: デフォルトでは、このオプションは有効に設定されています。 [KEK] [db] [dbx]

パフォーマンス

表 33. パフォーマンス

オプション	説明
[マルチ コア サポート]	<p>このフィールドでは、プロセスで1つのコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。デフォルト値は、コアの最大数に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [すべてのコア]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [1] • [2] • [3]
[インテル SpeedStep]	<p>この機能により、システムがプロセッサの電圧とコア周波数を動的に調整し、平均電力消費量と発熱量を削減することができます。</p> <p>[インテル SpeedStep を有効にする]</p> <p>このオプションはデフォルトで有効化されています。</p>
[C ステータス コントロール]	<p>これは、低電力状態を開始して終了する CPU の機能を有効化または無効化することができます。</p> <p>[C-state コントロールを有効にする]</p> <p>このオプションはデフォルトで有効化されています。</p>
[Intel ターボブーストテクノロジー]	<p>プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。</p> <p>[Enable Intel Turbo Boost Technology]</p> <p>このオプションはデフォルトで有効化されています。</p>
[Intel Hyper-Threading Technology]	<p>このオプションは、ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。</p> <p>[Enable Intel Hyper-Threading Technology]</p> <p>このオプションはデフォルトで有効化されています。</p>

電源管理

表 34. 電源管理

オプション	説明
[Wake on AC (ウェイクオン AC)]	<p>アダプターが接続されているときに、システムが起動し、基本的なチェックを実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [オン] • [Off]: デフォルトで有効
[Enable USB Wake Support (USB ウェイクサポートを有効にする)]	<p>USB デバイスでシステムをスタンバイ モードからウェイクさせることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [オン]

表 34. 電源管理（続き）

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • [Off]: デフォルトで有効 <p>① メモ: これらの機能は、AC 電源アダプターを接続している場合のみ有効になります。スタンバイモードになる前に AC 電源アダプターを取り外すと、BIOS はバッテリーの電力を節約するため、すべての USB ポートへの電力供給を停止します。</p>
[ブロック スリープ]	<p>このオプションでは、オペレーティング システムの環境でスリープ (S3) モードになることを防ぐことができます。デフォルトでは、[Block Sleep] オプションは無効に設定されています。</p> <p>① メモ: [ブロック スリープ] が有効な場合、システムはスリープ状態になりません。インテル ラピッド スタートは自動的に無効になり、スリープに設定された場合、オペレーティング システムの電源オプションは空白のままになります。</p>
[自動電源オン時刻]	<p>システムが自動的に電源を入れるようにしたい場合、決めた日時を設定できます</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [無効]: デフォルトで有効 • [Every Day (毎日)] • [Weekdays (平日)] • [Select Days (選択した日)] <p>週の曜日の一覧がフィールドに表示され、時刻を選択できます。</p>
[バッテリーの充電設定]	<p>システムに優先するバッテリーの充電計画を設定できます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Adaptive] — デフォルトで有効 • [Standard (標準)] • [主に AC を使用] • [カスタム]: バッテリーの開始または停止の割合を設定できます
[高度なバッテリー充電設定を有効にする]	<p>バッテリーの正常性を最大にするための高度な設定を有効にして、より高い使用率をサポートできます。制御の詳細は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [オン] • [消灯] <p>次の UI で、バッテリー充電時の挙動をさらに設定するための日付と時刻を設定できます。</p>
[ピーク シフト]	<p>ピーク電力消費時間中に、システムをバッテリーで動作させることができます。制御の詳細は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [オン] • [消灯] <p>次の UI で、バッテリー使用時の挙動をさらに設定するためのピークの日付と時刻を設定できます。</p>

ワイヤレス

表 35. ワイヤレスオプション

オプション	説明
[ワイヤレス デバイスを有効にする]	<p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [WLAN]: WLAN デバイスを有効または無効にします • [Bluetooth]: Bluetooth デバイスを有効または無効にします

POST 動作

表 36. POST 動作

オプション	説明
[有効な Numlock]	numlock を有効または無効にできます。 [Numlock を有効にする] <ul style="list-style-type: none"> • [ON]: デフォルトで有効 • [オフ]
[FN ロック]	ファンクション キーを有効または無効にできます。 <ul style="list-style-type: none"> • [ON]: デフォルトで有効 • [オフ] ロック モード : <ul style="list-style-type: none"> • [ロック モード標準]: 選択すると、F1~F12 キーは従来の機能を維持します。 • [ロック モードセカンダリー]: 選択すると、F1~F12 キーがメディアおよびシステム制御の二次機能に切り替わります。
[警告とエラー]	エラーが発生したときにシステムが起動プロセスを停止する条件を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [警告とエラー時のプロンプト]: エラーまたは警告が検出されたときに、システムはユーザーの入力を待ちます。 • [警告時に継続する]: エラーが検出されたときにのみ、システムはユーザーの入力を待ちます。 • [警告とエラー時に継続する]: エラーまたは警告が検出されたときでも、システムはユーザーの入力を求めません。
[Enable Adapter Warnings (アダプターの警告を有効にする)]	低電源アダプターが検出されたときにエラー メッセージを表示するようにシステムを設定できます。制御の詳細は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [オン] • [消灯]
[ファストブート]	UEFI 起動プロセスのスピードを設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [最小] • [Thorough (完全)] • [自動]
[BIOS POST 時間の延長]	BIOS POST のロード時間を設定できます <ul style="list-style-type: none"> • [0 秒] • [5 秒] • [10 秒]

メンテナンス

表 37. メンテナンス

オプション	説明
[サービス タグ]	Pc のサービス タグを表示します。
[Asset Tag]	管理者は Asset Tag を追加できます。Asset Tag は 64 文字の文字列で、IT 管理者が特定のシステムを一意に識別するために使用します。Asset Tag が設定されると、それ以降変更できません。
[ハードドライブからの BIOS リカバリー]	ハードドライブに保存されているコピーにある、破損した BIOS からのリカバリーを有効または無効にできます。 <ul style="list-style-type: none"> • [ON]: デフォルトで有効。

表 37. メンテナンス（続き）

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • [オフ] ユーザーの入力なしで、BIOS の自動リカバリーを有効にするチェック ボックスも利用できます。
[データ消去の開始]	再起動時に、システム上のストレージ デバイスの自動ワイプをセットアップできます。 このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [オン] • [OFF]: デフォルトで有効。

システムログ

表 38. システムログ


オプション	説明
[BIOS Event Log]	BIOS イベント ログの保持や消去をすることができます。 [BIOS イベント ログの消去] このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [保持]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [Clear (クリア)]
[Thermal Event Log]	サーマル イベント ログの保持や消去をすることができます。 [Clear Thermal Event Log] このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [保持]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [Clear (クリア)]
[Power Event Log]	電源イベント ログの保持や消去をすることができます。 [電源イベント ログの消去] このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • [保持]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [Clear (クリア)]

Windows での BIOS のアップデート

前提条件

システム ボードを交換する場合やアップデートが入手できる場合は、BIOS (システム セットアップ) をアップデートすることをお勧めします。

このタスクについて

 **メモ:** BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS をアップデートする前に一時停止し、BIOS のアップデート完了後に再度有効にする必要があります。

詳細については、ナレッジベース記事「[Windows で TPM を使用して BitLocker を有効または無効にする方法](#)」を参照してください。

手順

1. PC を再起動します。
2. [Dell.com/support](#) にアクセスしてください。
 - [サービス タグ] や [エクスプレス サービス コード] を入力し、[送信] をクリックします。

- [**Detect Product**] をクリックして、画面に表示される指示に従います。
3. サービス タグを検出または検索できない場合は、[**Choose from all products**] をクリックします。
 4. リストから [Products] カテゴリを選択します。
 - ① **メモ:** 該当するカテゴリを選択して製品ページに移動します。
 5. お使いの PC モデルを選択すると、その PC の [製品サポート] ページが表示されます。
 6. [Get drivers] をクリックし、[Drivers and Downloads] をクリックします。
[Drivers and Downloads] セクションが開きます。
 7. [**Find it myself**] をクリックします。
 8. [**BIOS**] をクリックして BIOS のバージョンを表示します。
 9. 最新の BIOS ファイルを選んで、[Download] をクリックします。
 10. [Please select your download method below] ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、[ファイルのダウンロード] をクリックします。
[ファイルのダウンロード] ウィンドウが表示されます。
 11. ファイルを PC に保存する場合は、[保存] をクリックします。
 12. [実行] をクリックしてお使いの PC に更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。

BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート

△ **注意:** BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この件の詳細については、ナレッジベース記事を参照してください。[**BitLocker が有効になっている Dell システムでの BIOS のアップデート (英語)**] <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

Linux および Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート

Ubuntu などの Linux 環境でシステム BIOS をアップデートする場合は、[**Linux または Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート**] を参照してください。

システムパスワードおよびセットアップパスワード

表 39. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

△ **注意:** パスワード機能は、PC 内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

△ **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

① **メモ:** システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システム セットアップパスワードの割り当て

前提条件

ステータスが [未設定] の場合のみ、新しい [システム パスワードまたは管理者パスワード] を割り当てることができます。

このタスクについて

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F2 を押します。

手順

1. [システム BIOS] 画面または [システム セットアップ] 画面で、[セキュリティ] を選択し、**Enter** を押します。
[セキュリティ] 画面が表示されます。
2. [システム/管理者パスワード] を選択し、[新しいパスワードを入力] フィールドでパスワードを作成します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 0 から 9 までの数字を含めることができます。
 - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
 - 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、() (+) (,) (-) (.) (/) (;) ([] (\) (]) (`) 。
3. [新しいパスワードの確認] フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
4. **Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
5. **Y** を押して変更を保存します。
PC が再起動します。

既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更


前提条件

既存のシステム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、**パスワード ステータス**が (システム セットアップで) ロック解除になっていることを確認します。**パスワード ステータス**がロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

このタスクについて


システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F2 を押します。

手順

1. [システム BIOS] 画面または [システム セットアップ] 画面で、[システム セキュリティ] を選択し、**Enter** を押します。
[システムセキュリティ] 画面が表示されます。
2. [システムセキュリティ] 画面で [パスワードステータス] が [ロック解除] に設定されていることを確認します。
3. [システム パスワード] を選択し、既存のシステム パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
4. [セットアップ パスワード] を選択し、既存のセットアップ パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
 **メモ:** システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。システム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。
5. **Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. **Y** を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。
PC が再起動されます。

Dell へのお問い合わせ

前提条件

 **メモ:** インターネットにアクセスできない場合には、注文書、配送伝票、請求書、または Dell 製品カタログにある、お問い合わせ情報をご利用ください。

このタスクについて

Dell では、オンラインおよび電話によるサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。Dell のセールス、テクニカルサポート、またはカスタマー サービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

手順

1. [Dell.com/support] にアクセスしてください。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある [国 / 地域の選択] ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 目的のサービスまたはサポートを選択します。